多摩川水系における魚類の生息調査を活用した環境教育の普及および啓蒙

２０１０年

奥山　文弥
美しい多摩川フォーラム

●多摩川の首都圏の主要河川

※多摩川流域境界のうち、中、下流部の境界は、自然地形上の区分はできないため、財団が任意に境界区分を行ったものである。

『多摩川釣り観察　さかなが教えてくれること』

（奥山文弥　著）

要　約

はじめに…本書の制作意図、社会背景について。

里山、生態系、エコロジー。近年はこうした言葉の流通に伴い、市民の自然への意識が高まりを見せているように思われています。「温暖化問題」など、情報化社会のなかで地球規模・人類規模で問題が共有・議論されるものも出てきました。新聞、TV 等のマスコミ情報では、これらの文字や言葉が載らない日はないといっていいほどです。

この流行ともいえる一連の事象は、エコポイントに象徴されるように政治・経済にも大きく結びつき、個々においても「エコな私」などといったクリーンなライフスタイルの演出の一助となっているようです。

しかし、現実に私たちひとりひとりの暮らしの足元を見つめたとき、それらは、ある面ではいかにイメージ先行のものであるかがふとわかって愕然とします。

たとえば、水。

「節水を心がけよう」

「水を汚さないようにしよう」

企業も個人も同じ言葉の大合唱のなか、しかし「水」を中心に張り巡らされた自然全体と人とのかかわりは、薄れていく一方です。その最たるものが、「川は危ないから遊んではいけない」という子供に対する大人の教育姿勢に表われています。水は大切、生物多様性、などと言っておきながら、片方では子供から水辺という貴重な自然環境、まなびの空間を奪い取っている。自然教育という名ばかりで継続性のないイベントやその報道に至っては、「エコな私“たち”」のイメージを維持するための、あるいは一種の免罪符ではないのかとすら思えてしまいます。

これはいったい何事でしょう？　そこには水をヒトに必要な「資源」としてしかとらえず、それ以外のことは切り離して関心をもたない、もたせない、いやもつなという姿勢すら見え隠れするのです。

水。それはどこからくるのか。そこには本来どんな自然があって、景色があって、生き物がいて、ヒトが暮らしで水を利用するなかでどのようにあり続けて（あるいは変容して）きたのか。私たちはそこにどんなつながりをもってきたのか、あるいはいるのか。「エコ」をどれだけイメージしたところでそれはわかりません。

では、どうすればよいのか？

簡単です。まず、現場に出ること。そして直に水に触れ、何らかの方法で水辺を観察してみることです。

本書の著者は大学時代に魚類学を学んだ科学者であり、現在は教育に従事する者です。同時に釣りの愛好者でもあります。著者は両方の視点から、人類の命を支えてきた水という大きなひとつの生態系を実感するのに釣りはまさに最適であるという結論に達し、以来釣りと教育の融合を試みるなかでその啓蒙普及に努めてきました。

釣りの相手は自然、その自然は刻一刻と変化します。楽しく遊ぶには観察力を高めなければなりません。予測・観察・判断、その積み重ねがひとりひとりの感性を養い人間性を豊かにしてくれます。さらにその先には、釣りという遊びを通じて、ヒトが本来もっていた水とのかかわりの根本的な部分が見えてくる、そう信じているのです。

本書の内容について（各項要約）

多摩川にすむ魚たち

現在の多摩川に、実際に生息する３４種の魚類（テナガエビ含む）を写真で紹介。特筆すべきは、すべて多摩川水系の魚であること。その大部分は著者自身の観察・撮影によるものである。魚の模様や色艶は非常にデリケートで、生きているのと死んだ個体ではまるで異なってくる。ここではほとんどの写真が釣りあげた直後に撮ったものであり、図鑑的な価値も高い。

個々の魚種は、主な生息域、成魚の大きさ、特徴、遡上性の有無や希少性についても記述。産卵期に体色が変わるものについては婚姻色の出た個体写真も掲載している。

上流から下流へ紹介していく構成にすることで、水辺環境の変化とともに移り変わる魚類層、古くから生息する国内種・放流の有無、国内移入種、外来種の古いもの・新しいものなど、さまざまな要因によって魚たちがそこにいることが理解できるように努めた。観察するための手段としての釣りは、釣法別にその難易度を併記した。

流域全体のイメージの補助として、多摩川 Map も掲載。周辺の住民等に親しまれている多摩川近郊の管理釣り場も記してある。

ヒトと自然のシーソー　多摩川の今

江戸時代以来の大都市である東京を流れる多摩川の、地形・流域・傾斜・ダム（人工構造物）・歴史等についての簡略なインフォメーション。

まえがきにかえて　川を知るには釣りが一番！

「釣りをする人は自然に水辺の観察者になっていきます。それは、魚を釣るためにはまず、魚がすむ世界のことを知らなければならないからです」

当該頁冒頭のこの一文が象徴するように、釣りという遊びの本質は、自然観察であるということ。しかも水辺環境において究極のものであることをわかりやすく記した。

釣りは世界中の水辺で行なわれ、老若男女に親しまれている。こんな遊びはほかにはな

い。重ねて言うが、釣りの本質は自然観察である。本書は釣りの実用書としてではなく、その本質を読者に伝えるべく、その旨を本項で述べている。

フィッシング・メモ

流域別、対象魚別、あるいは釣法別に、多摩川に棲む魚たちを観察するために必要なそれぞれの釣り方を解説。基本的な内容は、

パート１　魚を知ろう！

パート２　釣りについて

の二部構成になっている。

パート１では「多摩川にすむ魚たち」を補完するとともに、アユやコイなどはその盛衰について触れることで、近代における人工河川構造物の遡上魚への影響、高度経済成長時代の水質汚染などにも言及している。

パート２は、釣りの基本的な方法を解説している。上手に釣るために知っておくべき魚の習性や食性は、魚に対する知識をより高めるものにもなる。釣りの技術（釣り方）は、対象となる魚が変わるごとに大きく変化する。それもまた自然の多様性を知る間接的な手がかりとなることを読者に期待するものである。

川のコラム

多摩川の「現在（いま）」を語るうえで重要と思われる３つのテーマ「魚道の話」「多摩川の生命力　アユの遡上」「川をめぐる現代教育事情」について、科学的な考察をもとに著者の思うところを述べている。

「魚道の話」は、多摩川水系に限らず、日本各地に無数に建造された堰堤などの人工構造物がどんな役割を果たし、同時に川という生態系の何を損なったのかについてまず述べている（多摩川水系については主な構造物・魚道を写真で紹介）。そのうえで、魚道の役割とその現状、望まれるかたち、さらには多摩川に話を戻して「奥多摩湖」という巨大な人工構造物（ダム）が流域にどのような影響を及ぼしているのかについても言及した。

「多摩川の生命力　アユの遡上」は、海と川（それもかなり上流まで）を行き来する、遡上魚の性質をもつアユを視点にすることで、多摩川がどれほど大きな環境変化を遂げてきたかを記した。それはこの川の歴史の一面を照らすことでもある。

「川をめぐる現代教育事情」には、不測の事態が起きたとき「責任」という名のもと誰かを糾弾せずにはおかないという今の社会の縮図に対するアンチテーゼともいえる。川を「あぶない」と大人が言う現代社会。危なくしたのは誰なのか。なぜ危ないのか。問題の根は深い。

水生生物観察会

美しい多摩川フォーラム主催による、一般自由参加の水生生物観察会レポートである。観察会は、季節を追って多摩川の自然に調査という形で触れ合うことで、漠然と見慣れている川の水中世界ではどのような生命の営みが起こり、変化しているのかを知るとともに、

多摩川という自然環境の「今」がどのような状況にあるのかを参加者それぞれが考えた。また、季節ごとに姿を現す魚（移動・遡上）、支流と本流の魚類生息の違いとそこにいる理由、各魚類の生態、川の構造などの知識を現場で総合的に高めることによって、多くの生命を擁する「川」という一つの自然体系のポテンシャルを肌で感じることも意図して実施したものである。

具体的には、平成 21 年３月 29 日～同年５月 30 日にかけて場所を変え計４回の調査を行なった（下記）。

マルタ遡上観察会（３月 29 日）。観察場所＝二子玉川・野川合流点付近

アユ遡上観察会（４月 29 日）。観察場所＝宿河原堰

平井川観察会（５月 16 日）。観察場所＝平井川（市民球場周辺）

河口観察会（５月 30 日）。観察場所＝大師橋上下流

各観察会の詳細については本書に記したとおりである。

結びを覚えよう

結びは、釣りの仕掛けをつくるうえで必須のものである。本書は、水辺の自然観察の手段としても釣りをとりあげている関係上、最低限必要となる結びを図解で記した。なお、釣りの仕掛けとしてみれば結びはその技術、実用の一つに過ぎないが、元はといえばこれらは釣りに限らず先人の知恵の結晶でもある。また一般社会における冠婚葬祭等に見られるように、「結び」は儀式においても重要な役割を果たしているのはいうまでもない。

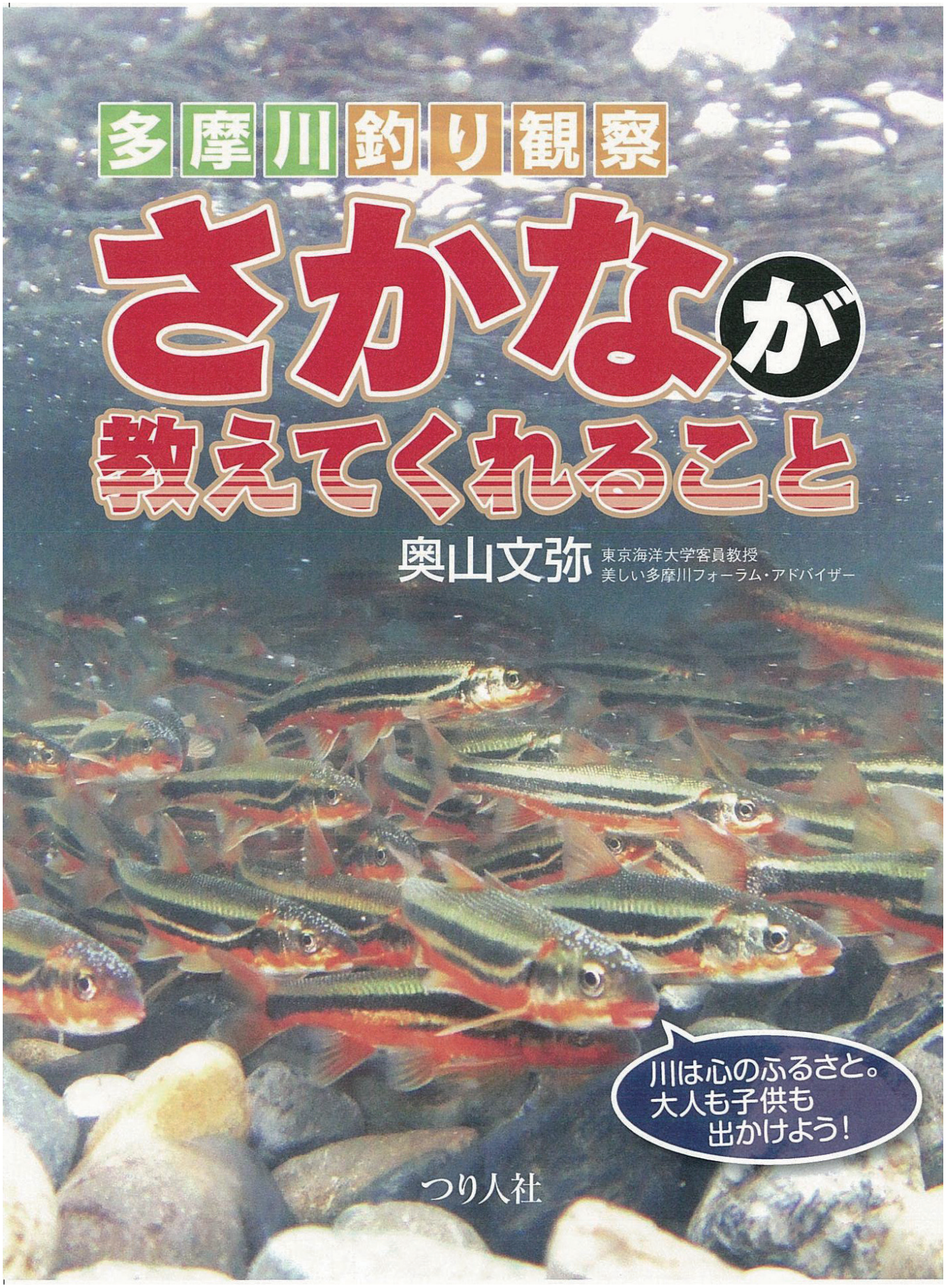
多摩川釣り散歩

月刊『つり人』誌上の同名連載（2006 年～）より収録。多摩川水系を「釣り散歩」し、エッセイ風にまとめたもの。全 24 回を通じて、流域から河口部までさまざまな多摩川の自然の表情とそこでの釣りを紹介している。写真を多用することで、読者も容易に記事を追体験することができるようになっている。大都会を流れる川の知られざるたくましい天然野生、水辺に集まってくる人々、源流域の原生の自然、里川の小魚たちなど、言葉では語りつくせない多摩川の魅力の一端を綴っている。

以上。

Daiwa BATTLE

Daiwa


多摩川釣り観察
さかなが
教えてくれること
奥山文弥
東京海洋大学客員教授
美しい多摩川フォーラム・アドバイザー
川は心のふるさと。
大人も子供も
出かけよう！
つり人社

0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13

マルタ遡上観察会のご案内

サケのようにマルタが多摩川を遡上。壮絶な野生の営みを観察しましょう。

1. 日時　：2009年　3月　28日（土）
　午前9時00分　集合（遅刻厳禁）　午後3時ごろ解散予定
2. 集合場所　：多摩川兵庫橋　東急鵜田園都市線　二子玉川駅下車
3. 参加費　：無料　定員は20人（親子参加優先します）
4. 持ち物　：タオル、雨具、帽子など日焼け対策。持っている人はウェイダー（長靴など）があれば便利です。着替えも。
　釣りをする人は釣り具、ハサミ、プライヤー（ラジオペンチ）、ルアータックル（ライン6ポンド）、フライ（6番）

（注意）　遡上の群れを探しながら移動します。ショルダーバッグやデイパックに荷物を入れ、動きやすい格好で来てください。

お申込は
美しい多摩川フォーラムまで
（事務局・青梅信用金庫地域貢献部内）
TEL：0428－24－5632
FAX：0428－24－4646
E-mail：forum@tama-river.jp

美しい多摩川フォーラム事務局 （青梅信用金庫 地域貢献部内） Copyright c 2007 utukusii tamagawa forum All Rights Reserved

Fish n’ fins report(フィッシュ＆フィンズ)

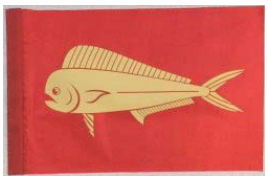
fins.exblog.jp
フィッシュアンドフィンズの例会等レポートです。

美しい多摩川フォーラム

今日は美しい多摩川フォーラムのマルタ遡上観察会で二子玉川に行ってきた。

歩いて場所を探すはずが、駅前でバシャバシャとやっていた。先行者がいたので声を掛けてそこへ入れていただき、全員ヒット。切られた人、バラした人もいたが、大きな魚を釣って、感動、感無量。

　４０ｃｍから５７㎝というりっぱなマルタたち。私たちを癒してくれた。



by fishandfins

< April 2010 >

S	M	T	W	T	F	S
				1	2	3
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	

カテゴリ

全体
ソルトウォーター
トラウトフィッシング
海釣り
川釣り
メンバーのお話

以前の記事

2010年 04月
2010年 03月
2010年 02月
2010年 01月
2009年 12月
2009年 11月
2009年 10月
2009年 09月
2009年 08月
2009年 07月
2009年 06月
2009年 05月
2009年 04月
2009年 03月
2009年 02月
2009年 01月
2008年 12月
2008年 11月

ウエイダーなしでOKのポイントにいてよかったね。浅里姐さん。

教え子の高校生も

2008年 10月
2008年 09月
2008年 08月
2008年 06月
2008年 05月
2008年 03月
2008年 02月
2008年 01月
2007年 12月
2007年 11月
2007年 10月
2007年 08月
2007年 07月
2007年 06月
2007年 05月
2007年 03月
2007年 01月
2006年 12月
2006年 11月
2006年 10月
2006年 08月
2006年 05月
2006年 04月
2006年 02月
2006年 01月
2005年 12月
2005年 11月
2005年 10月
2005年 09月
2005年 08月
2005年 07月
2005年 06月
2005年 05月
2005年 04月
2005年 03月

エキサイトブログ

奥山文弥　Fumiya&..
馬馬虎虎FishingD..
のほほん釣り日記など
クラーク高校フィッシングゼミ

最新のコメント

ついにやりましたね。この..
by fishandfins at 23:55

おすすめリンク

奥山文弥のホームページ・釣りの科学(Science to fish)

うわさのキーワード

クックパッド - SBI証券 - わが家の歴史 - ビリー・バンバン - 母の日 - ホワイトプ

ラン - 岡本真夜 - はなまるマーケット - フラッタースケープ - キヤノン - 織田信成 - eBay - ツインリンクもてぎ - ゲゲゲの女房 - TVタックル - スマスマ

このブログをマイリンクに登録

XML | ATOM

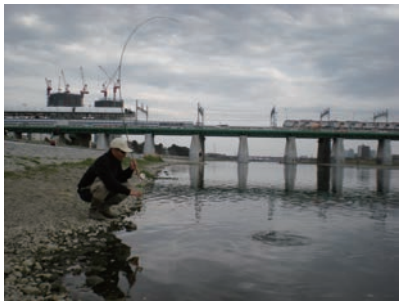
skin by excite

しっかり平岡さんも。

フライで釣れなかったのは私だけでした。チャンチャン。

by **fishandfins** | 2009-03-28 22:36 | 川釣り

< 前のページ 次のページ >



楽しい
多摩川フォーラム

楽しい
多摩川フォーラム

アユ遡上観察会のご案内

江戸前アユ多摩川を遡上。小さな命の営みを観察し、周辺の小魚釣りを楽しみましょう。

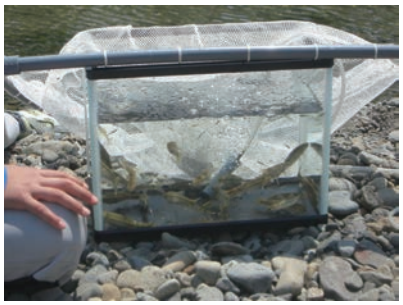
1. 日時　：2009年　4月　29日（水）
　午前9時00分　集合（遅刻厳禁）　午後3時ごろ解散予定
2. 集合場所　：多摩川二ヶ領宿河原の堰　二ヶ領せせらぎ館前に集合
　（JR小田急新宿線 登戸駅　徒歩15分）
3. 参加費　：無料　定員は20人（親子参加優先します）
4. 持ち物　：タオル、雨具、帽子など日焼け対策。持っている人はウェイダー（長靴など）があれば便利です。着替えも。
　釣りをする人は釣り具

（注意）　遡上の群れを探しながら移動します。ショルダーバッグやデイパックに荷物を入れ、動きやすい格好で来てください。

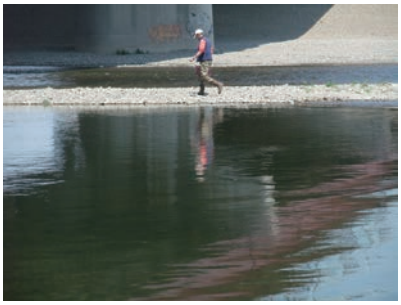
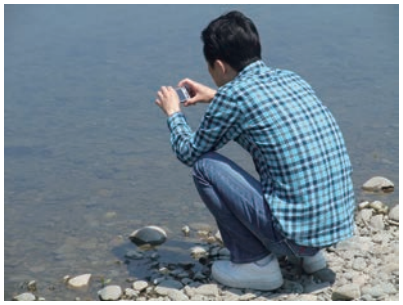
集合場所周辺地図

お申込は
美しい多摩川フォーラムまで
（事務局・青梅信用金庫地域貢献部内）
TEL：0428－24－5632
FAX：0428－24－4646
E-mail：forum@tama-river.jp

美しい多摩川フォーラム事務局 （青梅信用金庫 地域貢献部内）　Copyright c 2007 utukusii tamagawa forum　All Rights Reserved



もくい
多摩川フォーラム

135
BONSO
OFF
ON
TARE
HOLD

「かわさき水辺の条例」のご案内

平井川(多摩川支流)雑魚観察会のご案内

1. 日時　：2009年　5月　9日(土)
午前8時45分　集合(遅刻厳禁)　12時頃解散予定

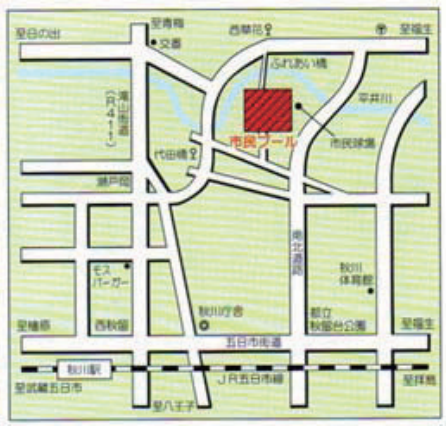
2. 集合場所　：あきる野市民プール駐車場に集合
《交通》 ★ JR五日市線秋川駅よりバス(草花・瀬戸岡経由福生行：所要時間10分)にて「代田橋」下車、徒歩5分
★ JR青梅線福生駅よりバス(平井経由五日市行または草花・瀬戸岡経由秋川駅行又は日の出折返場行：所要時間約10分)にて「西草花」下車、ふれあい橋を渡り徒歩2分
☆ 屋外水泳場開場期間中は、駐車場が特に混雑しますので、徒歩やバス、自転車等をご利用のうえご来場ください

3. 参加費　：無料　定員は20人(親子参加優先します)

4. 持ち物　：タオル、雨具、帽子など日焼け対策。持っている人はウェイダー(長靴など)があれば便利です。着替えも。釣りをする人は小物釣り具(竿3.6m～4.5m)

(注意)ショルダーバッグやデイパックに荷物を入れ、動きやすい格好で来てください。

集合場所案内

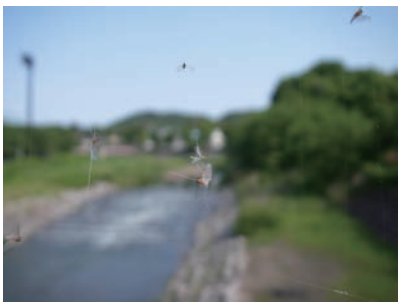


〒197-0811　あきる野市原小宮353
TEL:042-550-1711　(市民プール)

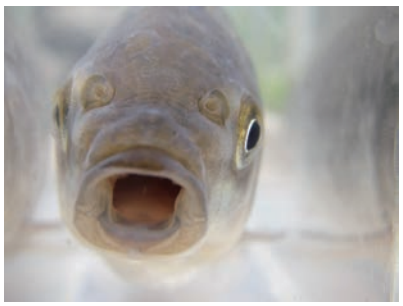
お申込みは
美しい多摩川フォーラムまで
(事務局・青梅信用金庫地域貢献部内)
TEL:　0428－24－5632
FAX:　0428－24－4646
E-mail:　forum@tama-river.jp

| ホーム | お問い合わせ | フォーラム規約 | プライバシーポリシー |

美しい多摩川フォーラム事務局　(青梅信用金庫 地域貢献部内)　Copyright c 2007 utukusii tamagawa forum　All Rights Reserved



0 1 2 3 6 7 8 9 10



多摩川河口観察会のご案内

多摩川が東京湾に流れ込む0メートル地帯の場所を見て、その環境を知り、
周辺の小魚釣りを楽しみましょう。歩きながら川崎上流付近周辺まで移動します。

1. 日時　：2009年　5月　30日（土）　少雨決行
　午前9時00分　集合（遅刻厳禁）　午後3時ごろ解散予定
2. 集合場所　：京急大師線　小島新田駅に集合
　（駅から多摩川べりへ出て河口を目指します）
3. 参加費　：無料　定員は20人（親子参加優先します）
4. 持ち物　：昼食、タオル、雨具、帽子など日焼け対策。
　釣りをする人は釣り具
　（2m前後のルアーロッドまたはチョイ投げ竿、小型スピニングリール ミチイト2号前後、片テンビン仕掛けにオモリ5～10号、ハリは袖型7号ぐらい。エサはミミズか青イソメなど）

（注意）　河口から、釣りやすそうな場所を探しながら移動します。ショルダーバッグやデイパックに荷物を入れ、動きやすい格好で来てください。

集合場所周辺地図

お申込は
美しい多摩川フォーラムまで
（事務局・青梅信用金庫地域貢献部内）
TEL：0428－24－5632
FAX：0428－24－4646
E-mail：forum@tama-river.jp

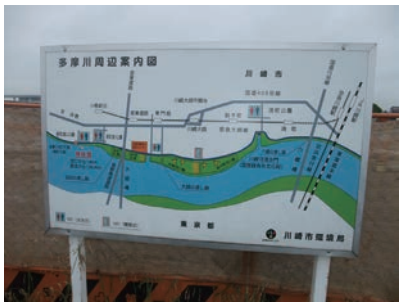
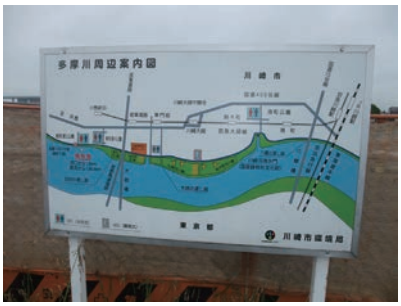
美しい多摩川フォーラム事務局 （青梅信用金庫 地域貢献部内）　Copyright c 2007 utukusii tamagawa forum　All Rights Reserved

普通 83

キムラ

多摩川鳥獣保護区区域図
この区域は鳥獣の捕獲が禁止されております。
鳥獣の保護にご協力をお願いします。
神奈川県

生態系保持空間


多摩川周辺案内図
川崎市
東京都
川崎市環境局

多摩川周辺案内図
川崎市
東京都
川崎市環境局

たまがわ
多摩川
右岸
海から
1K

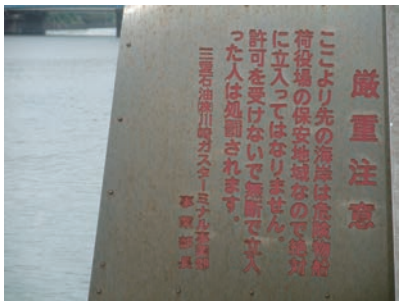
たまがわ
多摩川
右岸
海から
1K

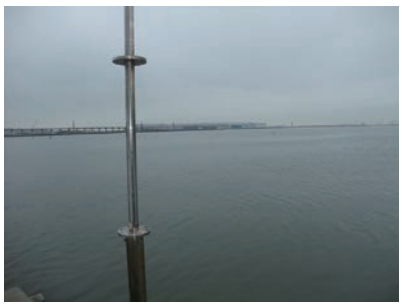
たまがわ
多摩川
右岸
海から
1K

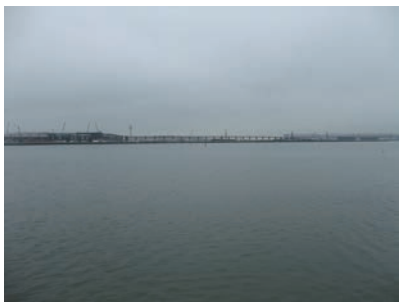
多摩川河口

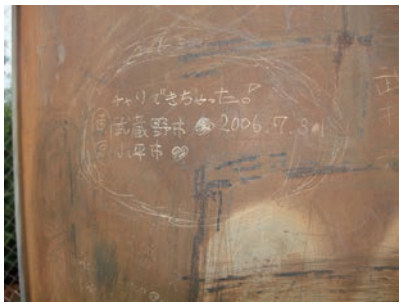
自然にやさしさ
多摩川に愛を…

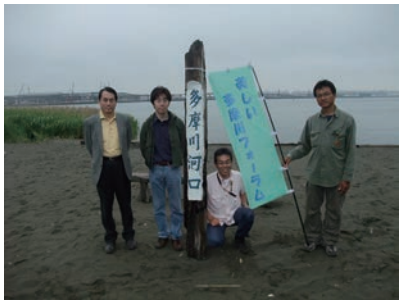
多摩川河口水位観測所


厳重注意
ここより先の海岸は危険物荷役場の保安地域なので絶対に立入ってはなりません。許可を受けないで無断で立入った人は処罰されます。
三菱石油川崎ガスターミナル株式会社









国道409号
川崎市民健康の森
(海風の森)方面
行き止まり
1.4Km先

許可番号
19第占許第22号の2
許可年月日
平成19年6月8日
占用場所
神奈川県川崎市川崎区殿町3丁目地先
占用目的
河底横過トンネルの在置(京葉線羽田延伸)
占用面積
4,487㎡
占用期間
多摩川水系多摩川右岸
許可受入
東日本旅客鉄道株式会社 東京支社長
管理箇所
横浜支社
国土交通省関東地方整備局長

たまがわ
多摩川
右岸
海から
2K

たまがわ
多摩川
右岸
海から
2K

動物を捨てることは、犯罪です
捨てられた猫の毛などは、眼病、病気、カラスの襲撃等で生まれます。飼いましょう、生まれて困る前に、大阪の不妊・去勢手術をしましょう。
終生、愛情と責任をもって飼いましょう。
(動物愛護法 第44条)
国土交通省

多摩川八景
多摩川の河口

多摩川八景
多摩川の河口

大師
出入口
横浜方面
開通
3/29(日)
15:00

23K

二ヶ領上河原の堰観察会のご案内

多摩川本流に位置する大きな堰の一つ、上河原の堰を見学し、
周辺の水辺環境を観察しましょう。

1. 日　時　：2009年　6月　20日（土）
　午前9時00分　集合（遅刻厳禁）　午後2時ごろ解散予定
2. 集合場所　：多摩川二ヶ領上河原の堰（川崎側）稲田公園
　（JR南武線稲田堤、京王線京王稲田堤駅徒歩10～15分）
3. 参加費　：無料　定員は20人（親子参加優先します）
4. 持ち物　：タオル、雨具、帽子など日焼け対策。
　釣りをする人は釣り具
　（遊漁料：小物釣りは500円、リールを使ったコイ釣りや
　ルアー釣りは1，000円。小学生以下は無料。）

（注意）　水路や堰を見学し、移動しながら観察会を行います。
ショルダーバッグやデイパックに荷物を入れ、動きやすい格好で来てください。

集合場所周辺地図

お申込みは
美しい多摩川フォーラムまで
（事務局・青梅信用金庫地域貢献部内）
TEL：0428－24－5632
FAX：0428－24－4646
E-mail：forum@tama-river.jp

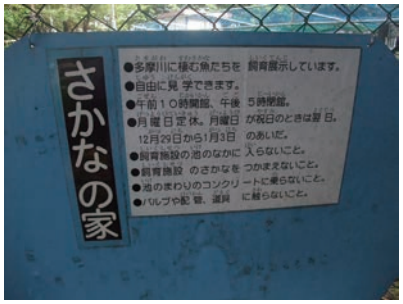
美しい多摩川フォーラム事務局（青梅信用金庫 地域貢献部内）　Copyright c 2007 utukusii tamagawa forum　All Rights Reserved

稲田公園

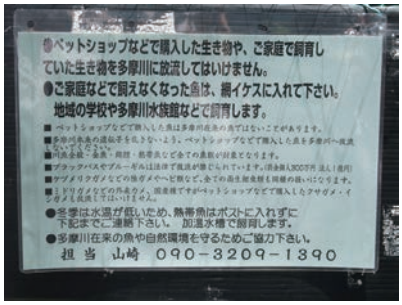
—多摩川の生態系を守る—
おさかなポスト
この先 駐車場奥左 フェンス内
★月曜休園 土/日開園しています。 10時～16時の間でご利用いただけます。
川崎河川漁業協同組合／多摩川ふれ合い水族館

駐車場利用時間は
午前9時より
午右5時まで
午右5時を過ぎると施錠します
施錠後は翌朝まで出られません
—多摩川の生態系を守る—
おさかなポスト
稲

臨時駐車場の利用について
●利用時間 午前9時から午後5時まで
(利用時間外は、出入りができません)
●この臨時駐車場は、公園利用者のため、無料で開放しているものです。
●車両の乗り入れの際には、歩行者の安全に十分配慮してください。場内での事故・盗難については、一切責任を負いません。
●川崎市条例に基づき、場内でのアイドリングは禁止します。停車時には必ずエンジンを停止してください。
川崎市北部公園事務所
電話 933－2611


さかなの家
●多摩川に棲む魚たちを 飼育展示しています。
●自由に見 学できます。
●午前10時開館、午後 5時閉館。
●月曜日定休。月曜日 が祝日のときは翌日。
12月29日から1月3日 のあいだ。
●飼育施設の池のなかに 入らないこと。
●飼育施設 のさかなを つかまえないこと。
●池のまわりのコンクリートに乗らないこと。
●バルブや配管、道具 に触らないこと。

多摩川水族館
無料
自由に見学できます。
せっかいに網の中へ入らないこと。
水槽やイケスの魚をとらないこと。

『おさかなポスト』の魚たちは、
個人の里親さんへは分譲していません。
連絡先電話 090-3209-1390 11時~20時
『おさかなポスト』 運営／管理者 山崎

●ペットショップなどで購入した生き物や、ご家庭で飼育し
ていた生き物を多摩川に放流してはいけません。
●ご家庭などで飼えなくなった魚は、網イケスに入れて下さい。
地域の学校や多摩川水族館などで飼育します。
●冬季は水温が低いため、熱帯魚はポストに入れずに
下記までご連絡下さい。 加温水槽で飼育します。
●多摩川在来の魚や自然環境を守るためご協力下さい。
担当 山崎 090-3209-1390

●ペットショップなどで購入した生き物や、ご家庭で飼育し
ていた生き物を多摩川に放流してはいけません。
●ご家庭などで飼えなくなった魚は、網イケスに入れて下さい。
地域の学校や多摩川水族館などで飼育します。
●冬季は水温が低いため、熱帯魚はポストに入れずに
下記までご連絡下さい。 加温水槽で飼育します。
●多摩川在来の魚や自然環境を守るためご協力下さい。
担当 山崎 090-3209-1390

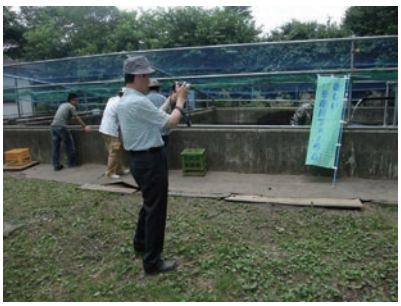
『おさかなポスト』の魚たちは、
個人の里親さんへは分譲していません。
連絡先電話 090-3209-1390 11時~20時
『おさかなポスト』 運営／管理者 山崎

自由に見学していただけます。
下の注意をまもってください。
イケス縁のコンクリートに登らない
ぜったいに網の中へ入らない。
水槽やイケスの魚をとらない。

多摩川水族館

多摩川水族館

多摩川に
住むさかなたち
さかなの名前



多摩川水系における魚類の生息調査を活用した環境教育の普及および啓蒙

（研究助成・一般研究ＶＯＬ．３２―ＮＯ．１９２）

著　者　奥山　文弥

発行日　２０１１年３月３１日
発行者　公益財団法人　とうきゅう環境財団
〒１５０－０００２
東京都渋谷区渋谷１－１６－１４（渋谷地下鉄ビル内）
ＴＥＬ（０３）３４００－９１４２
ＦＡＸ（０３）３４００－９１４１
http://home.q07.itscom.net/tokyuenv/